



(1) マスタープラン

- 秋田県産再生可能エネルギー電力100%を供給
- 秋田県の特徴である風力、洋上風力による電力を最大限活用
- 発電所が近いという優位性を活かし、可能な限りフィジカルな電力供給を目指す
- 工業団地内で自立した電力供給事業を行う
- 2028年頃の供給開始を目指し、関係する事業者との調整を進める



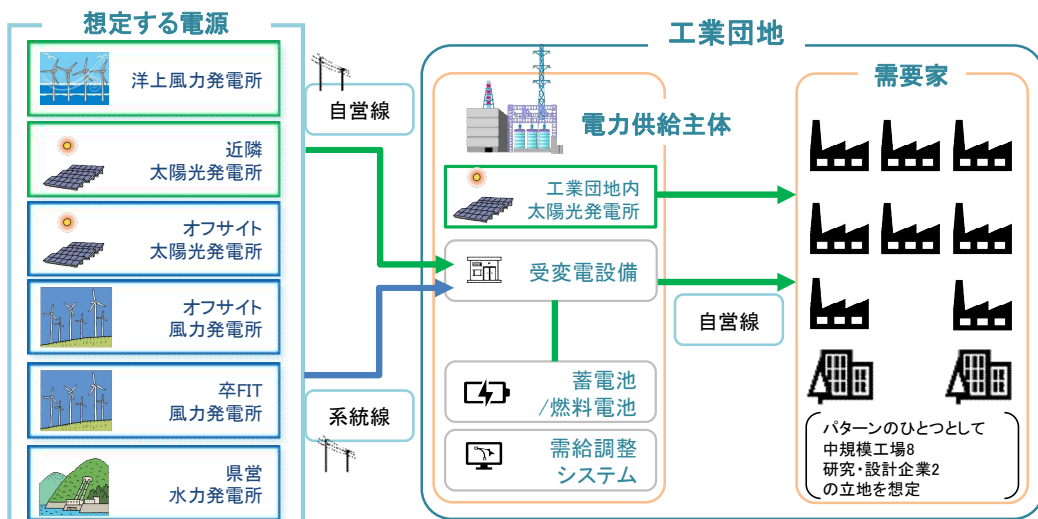
〔再エネ工業団地計画地域〕



〔再エネ工業団地イメージ〕
(工業団地面積 約25万㎡)

イメージ図であり、実際の建物配置や土地利用形態は今後の詳細設計や立地する企業との調整で決定

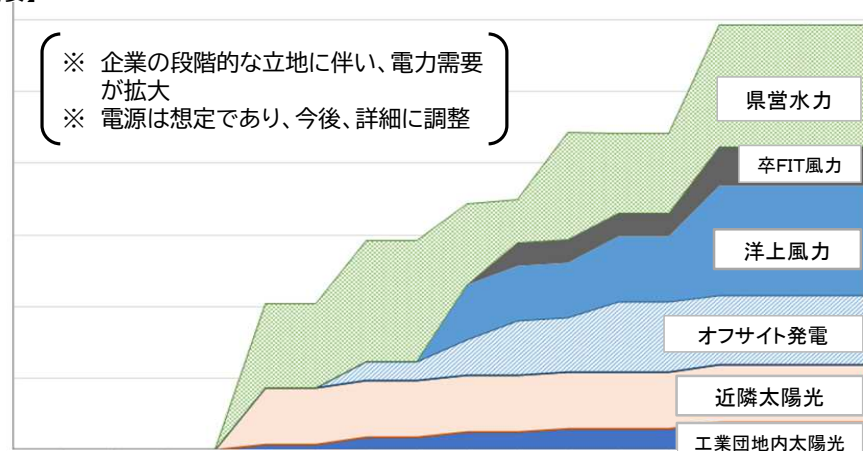
(2) 想定する電源と需要家



(3) 電力供給計画

【電力需要】

- ※ 企業の段階的な立地に伴い、電力需要が拡大
- ※ 電源は想定であり、今後、詳細に調整



【年度】



(4) 主な課題と今後のアクション

電力の確保

- 想定する電力の確実な確保

- 供給を期待する発電事業者との折衝・条件調整
- オフサイト電源の確保について、県有地を含めた適地調査や投資コストの詳細な調査、発電事業者との条件調整
- 卒FIT風車活用のための技術課題の整理、発電事業者との条件調整

電力マネジメント

- 需給調整と安定供給
- データセンターや電子部品製造向けの高度な電力保証

- 工業団地内企業のデマンドレスポンスを検討
- 出力変動の大きい再エネの需給調整の手法として蓄電池の設置・水素の活用について、技術的課題や費用対効果を整理
- データセンターや電子部品製造向けの瞬低防止やバックアップ体制の構築を検討

電力供給事業

- 中核企業の選定や誘致
- 事業内容の精査
- 経営安定条件の詳細な検討

- 中核企業の候補となるノウハウのある事業者を交え、事業内容の詳細を検討する
- 発電事業者との条件調整を踏まえた電力調達価格や需要家ニーズに基づいた適切な売電価格の設定等、より具体的な条件設定のもとで満たすべき諸条件を整理